



タウンミーティングを開催しました！

全6地区のコミュニティセンターにて、
策定中の第6次総合計画のご紹介や東浦町の現況についてご説明致しました！

～開催の様子～

タウンミーティングにも女性の参加を促す工夫をしたほうがいいのでは？



7/21(土) 緒川地区

人口減少・高齢化で東浦はどうなるのかデータをしっかり分析してほしい！



7/21(土) 緒川新田地区

自分事としてのまちづくりのやり方が分からない住民にきっかけほしい！



7/22(日) 生路地区



7/22(日) 石浜地区

グローバル社会に対応できる特性を活かした取組が必要では！



7/29(日) 藤江地区

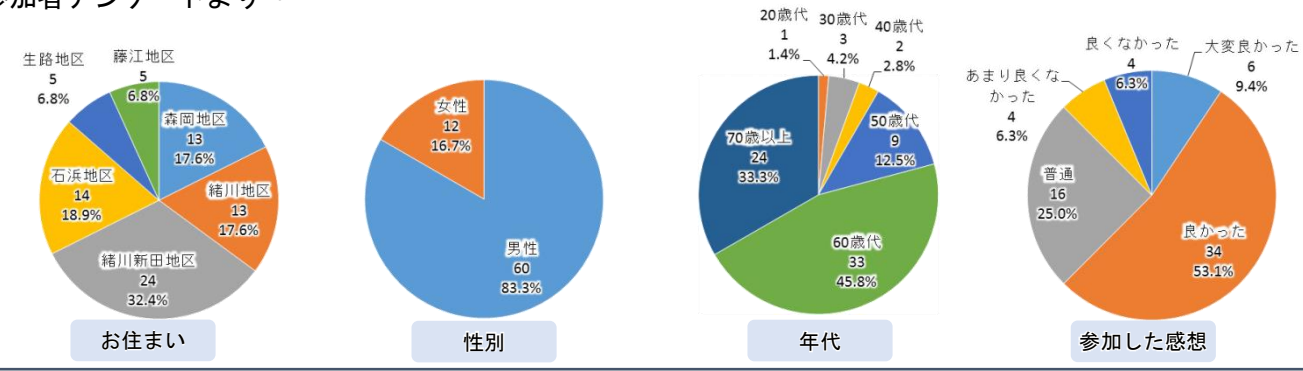
地域の活動に参加しやすくなるような仕組みづくりを町に支援してほしい！



7/29(日) 森岡地区

地域の一部の人への負担ではなく住民全員が協力できるようになるといい！

～参加者アンケートより～



問合せ：東浦町企画政策課 0562-83-3111 内線 290
kikaku@town.aichi-higashiura.lg.jp



～ 藤江地区 ～



【開催概要】日時：7月29日(日) 10:00～11:30 場所：藤江コミュニティセンター 参加者数：15名

	意見等の概要	回答
基本構想について	<p>前回の総合計画策定時も全国的に見れば人口減少社会にあったと思うが、東浦町では、人口増の計画が策定された。なぜそのようなことになったのか。今回は、どのような見通しをしているのか。現状維持していくためには、人口を増やさなければならないと思うが、具体的にはどのように考えているのか。</p>	<p>平成12年、平成17年の国勢調査では、人口増であった。そのデータをもとに推計されたので、人口は微増と推計された。今回は、厳しい数字を見込みつつ、現状・方向性がずれてきた時点で施策の方向性を見直ししながら進めていきたい。日本全国で人口が減少する中、東浦町だけ増加するのは難しい。人口維持も難しいと思うが、今後、引き続き企業誘致を行い、働く場づくり、働く人の住環境づくりを進めることで、人口維持を図りたい。</p>
	<p>企業誘致には、土地利用計画が大切になるが、すでに土地利用の計画はされているのか。定住用の土地も必要になると思う。市街化調整区域を市街化区域にするのか。</p>	<p>今回の総合計画でも土地利用計画を示している。面的整備だけでは、企業誘致は難しいので、都市計画道路の整備もあわせて考えていきたい。全く新しい所に市街地を形成するのではなく、既存市街地に隣接するかたちで、新たな住環境の整備を進める。例えば、森岡と緒川の市街地が途切れているところを利用したり、緒川新田地区で県が整備予定の都市計画道路整備にあわせた住環境づくりを進めたりしたいと考えている。</p>
	<p>コンパクトなまちづくりで、現在の市街地で歩いて暮らせるまちづくりをするための地区計画を進めるような話もあったと思うがどうなったのか。</p>	<p>JR4駅、名鉄八幡新田駅、箕ヶ丘駅の半径800m以内の市街化区域に集積するかたちでコンパクトなまちづくりを進めている。</p>
	<p>人口減少に対する対策として、企業誘致だけでなく、他の市町村から東浦町に住んでもらえるような取組が必要ではないか。空き家の活用を町が斡旋している自治体もある。東浦町についてHP等でアピールして定住人口を増やす。いかに生産年齢人口を増やすか等、東浦町の産業として介護に力を入れ、雇用を生み出してはどうか。「介護なら東浦」と、家族皆で東浦町に住もうと思えるようなまちづくりを進めるといいのではないかと。計画が、絵に描いた餅にならないように、メリット、デメリットをマトリックスでまとめ、優先順位をつけて、まちづくりを進めるとよいと思う。</p>	<p>何にポイントをおいて、優先順位をつけるかをよく考えて計画に示す必要があると考えている。空き家については、方向性を検討中である(東浦町ではまとまった空き家は少ない)。生産年齢人口を増やすため、企業を誘致し、雇用の場を確保するとともに、今、住んでいる人が住み続けたいと思えるまちづくりが必要だと考えている。</p>
基本計画について	<p>自分たちのことは自分たちでという話も分かるが、人の確保が難しい。他の団体でも同じことだと思う。活動のできる人を集められる、参加しやすくなるような仕組みを町に支援してもらいたい。</p>	<p>まちづくりの担い手が、決まった人での運営になっている。他の地区でも課題になっている。皆さんと一緒に知恵を絞って考えていきたい。緒川では、「がんばっている人が幸せを感じるまちにしたい」という意見があった。各世代がまちづくりに参画できるように考えていかなければならない。昨年度、計画策定にあたり「若者会議」を行った。今年度も町の課題に対して若者が考える機会として「若者会議」を行う。町全体だけでなく、各地区でも「若者会議」ができるとよいかもしれない。</p>
	<p>地域の人たちの繋がりがつくりにくい時代になってきている。今回のタウンミーティング参加について、高齢者教室やPTA等にも声をかけたが、参加者が少ない。自主的な参加が少ない土地柄である。ひっぱり出す努力はしているが難しい。子どもの頃から地域の消防団やお祭りに触れ「地域を愛する、地域に貢献する」意識を育てるとよいのではないかと。</p>	<p>新たな教育指導要領では、社会に開かれた教育課程を進めようとしている。地域行事に子どもが参加できるなど、地域とともに学校教育の取組について考え、東浦町にあったコミュニティスクールにしていきたい。地域とともに価値観を共有することは、勉強だけでなく、社会人になる教育として大切なことだと考えている。</p>
その他	<p>総合計画のことについて、少し分かった。基本構想は20年だが、5年後の目標値等を明確にすることで、具体的な取組が進むのではないかと。環境に関する目標指標・数字などを打ち出している例も増えている。</p>	<p>基本計画に具体的な取組、目標指標・数値を示していく。</p>
	<p>役場の説明が理解できない。文章ばかり。皆に理解してもらえるように、事例をあげるなり、グラフを入れるなりして欲しい。</p>	<p>本日いただいたご意見をもとに、分かりやすい説明、資料づくりに努めたい。</p>